

## 韓国の社会と文化 — その総合的研究

教授 李 英 美

### 1. 研究内容

韓国の社会と文化に関する総合的な研究を行う。古代から現代に至るまでの韓国の歴史と社会の発展の流れを概観し、韓国の伝統文化から K・POP などの現代大衆文化に至るまで幅広く取り上げ、韓国の社会と文化に対する理解を深める。その過程で、古代から近代以前までの「韓流」、近代の「日流」、現在の「韓流」および「日流」といった両者の間の相互交流の大きな流れを確認し、その関わり方と共通点および相違点について検討する。同時に、こんにち私達が日本の大学で韓国の社会と文化について学ぶことの意義について考える。

### 2. ゼミの進め方

〈2年次〉

春・秋学期をとおして、韓国の社会と文化全般に関する概説書を読みつつ、基礎知識を習得する。

夏期休暇中には韓国ソウルでの海外合宿を予定しており、テキストで学んだ知識をもって韓国社会と文化に直接触れることにする(3年次との合同合宿を行うため、合宿先はソウルと済州島、隔年交互になる)。

〈3年次〉

春・秋学期をとおして、日本社会における韓国・朝鮮の捉え方についてテキストをとおして学び、そのうちの特定のテーマを決めてグループ発表を行う。レジュメと PP シートの作成、文献の調べ方、発表の方法について指導する。

夏期休暇中には、韓国最大の島である済州島(チェジュド)で合宿を行う。韓国本土とはまたひとつ違った済州島の歴史、社会、文化、世界遺産に触れ、特に日本との関わり方について確認する(2年次との合同合宿を行うため、合宿先はソウルと済州島、隔年交互になる)。

〈4年次〉

春・秋学期をとおして、主にこんにちにおける韓国文化と日本文化の相互交流としての「韓流」「日流」の現象を分析し、新時代を展望して論文としてまとめる。具体的な論文のテーマについてはグループまたは個人研究で行い、秋学期には論文の作成と指導を行う。合宿は冬期休暇中に韓国釜山(プサン)・慶州(キョンジュ)にて卒業旅行を兼ねて行う。

### 3. 教材

2年次：石坂浩一・福島みのり編著『現代韓国を知るための60章』明石書店、2000年。

3年次：姜在彦『世界の都市の物語—ソウル』文春文庫、1998年。

4年次：クォン・ヨンソク『「韓流」と「日流」—文化から読み解く日韓新時代』NHK出版、2010年。

### 4. 成績評価の方法

課題への取り組み姿勢、成果報告、ゼミ活動への参加状況と貢献度等を総合的に判断する。

### 5. ゼミ入室試験(選考方法)

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

### 6. その他・志願者へのメッセージなど

やむを得ない事情を除き、海外合宿(韓国)には必ず参加するようにしてください。

このゼミでは、各自が学問的な問題関心に即して研究テーマを見つけ、卒業時にはゼミ論文を提出する(『総合学際演習』に投稿)。また、学部長杯ゼミ対抗大会にもグループ研究で出場する。これらの活動と課題に積極的に取り組む学生の入室を歓迎する。ゼミ生の活動と研究テーマ、担当教員の研究テーマと著作などについて、詳しくは学部ホームページを参照してください。